

## 第4学年 道徳科学習指導案

日 時 平成28年11月1日(火) 1校時  
対 象 4学年 (計22名)  
授業者 小林 隆

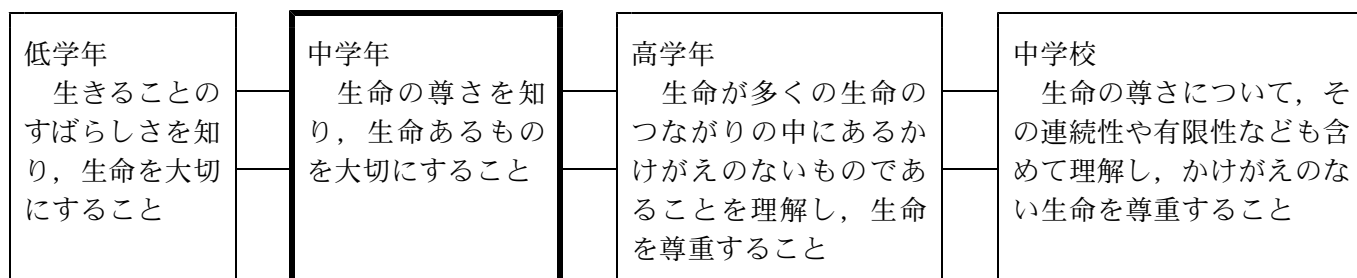
1 主題名 受け継がれる生命 (D 生命の尊さ)

2 教材名 「バルバオの木」 (「ゆたかな心で どうとく 4年」東京書籍)

3 主題設定の理由

### (1) 道徳的価値について

第3学年及び第4学年の内容の「D 生命の尊さ」は、「生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること」とある。これは、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることである。この内容項目は、次のように発展していく。



生命の尊さは幾度となく強調されなければならないと考える。それは、失われたら二度と戻らない、かけがえのない生命の価値の重みを十分に感得させなければならないからである。そのためには、生命は自分一人だけのものではなく、連綿と受け継がれてきたものであることや、自然の中で支えられ、育まれてきたものであることに具体的に気付かせることが大事である。

そこで、生命の大切さはもとより、支えられ、受け継いだ自分の生命について改めて考えさせることを通して、自他の生命を大切にしようとする子どもに育てたいと考える。

### (2) 児童について

児童は、進級した教室の中の水槽で泳ぐ2匹の金魚に興味を示し、すぐに金魚に名前を付けて、餌をやったり水槽の掃除や水替えをしたりし始めた。暖かくなった5月には、ヘチマの種をまいて発芽の様子を観察しようとしたが、発芽せず、やむを得ずキュウリの苗を植えて成長の様子を観察してきた。6月には道徳の時間に「わたしの見つけた小さな幸せ」(出典 東京書籍)で、普段当たり前で生活していることのすばらしさを感じる主人公に共感しつつ、自分にとっての小さな幸せとは何かを考えてきた。また、消防署への社会科見学での人命救助の話や理科の植物の観察を通して、生命の大切さについて学んできた。しかし、実感を伴って生命の尊さをとらえるまでには至っていないのが現状である。

そのような中で、理科の学習で、ヘチマの代わりにキュウリを育て、立派に育った実を収穫してみんなで食べて「美味しい。」と声が広がった。これは、子どもたちにとって身近な「食」を通して他の生命の支えなしには生きられない事実を知る学習の契機となった。そして、植物や動物の越冬の仕方の学習を通して、連綿と受け継がれる生命の尊さを学んできた。

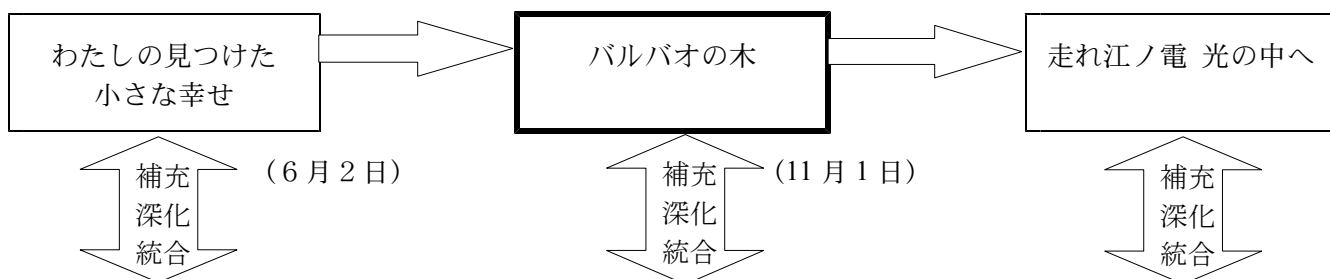
これらのことから、自分の生命は自分だけのものではなく、他の人の様々な思いや、他の生命そのものが支えていることについて考えを深め、他の生命に支えられ、生命が受け継がれていくことに気付かせる指導が必要であると考えた。そして、受け継がれた尊い生命と自分の生き方をつなげて考えさせ、かけがえのない自他の生命を大切に守り育てていこうとする態度を育てていきたいと考える。

(3) 教材について

本教材は、樹齢何十万年のバルバオという大木が、飢えに苦しむ鳥やシカ、ゾウたちに食べられるため実や葉、最後は自分自身の幹を投げ出し、動物たちの危機を救う。敬けんの心にも通じる感動的な話である。そこで、子どもたちの心に残った場面の感動を大切にしながら、ねらいとする道徳的価値への方向付けを行い学習課題の設定へとつないでいく。また、危機的状況から救われる鳥やシカ、ゾウの心情を自分との関わりで考える学習活動を通して、バルバオの木の自己犠牲や無償の愛は、自分自身の親の愛と通ずるものであることを捉えさせたい。さらに自分たちの命も他の生き物の命によって支えられていることや親から子へと受け継がれてきたかけがえのないものであることを考えさせ、生命あるものを大切にすることを育んでいきたい。

(4) 各教科との関連

[道徳の時間]



|  |  |
|--|--|
| <p>[日常の学級経営・・・思いやる心]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の人格を尊重する学級経営</li> <li>・日常的に級友のいいとこさがしをして、優しさや人の気持ちを推し量る心を育てる。</li> <li>・毎日、走る・跳ぶ・学ぶことを目指し、自分を高めていこうとする。</li> <li>・相手意識をもって、児童会・JRC 委員会の募金活動に賛同し、募金等を行う。</li> <li>・家族や友達、地域の人たちに感謝の気落ちをもって生活する。</li> </ul> | <p>[復興教育]</p> <p>「人々をつないだ歌声」(復興教育資料 p. 30～31)</p> <hr/> <p>[各教科等]</p> <p>理科 「暑くなると」<br/>「涼くなると」</p> <p>社会 「わたしたちがくらす岩手県」<br/>「むかしの人々のねがいと努力」</p> <p>[児童会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり食べよう (8・9月)</li> </ul> <p>[学校行事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祖父母参観日</li> <li>・避難訓練</li> <li>・感謝集会</li> </ul> |
|--|--|

#### 4 学習指導過程

##### (1) ねらい

自他の生命を大切にしようとすることや、受け継がれる生命の尊さについて考えることを通して、生命あるものを大切にできる心情を育てる。

##### (2) 展開の概要

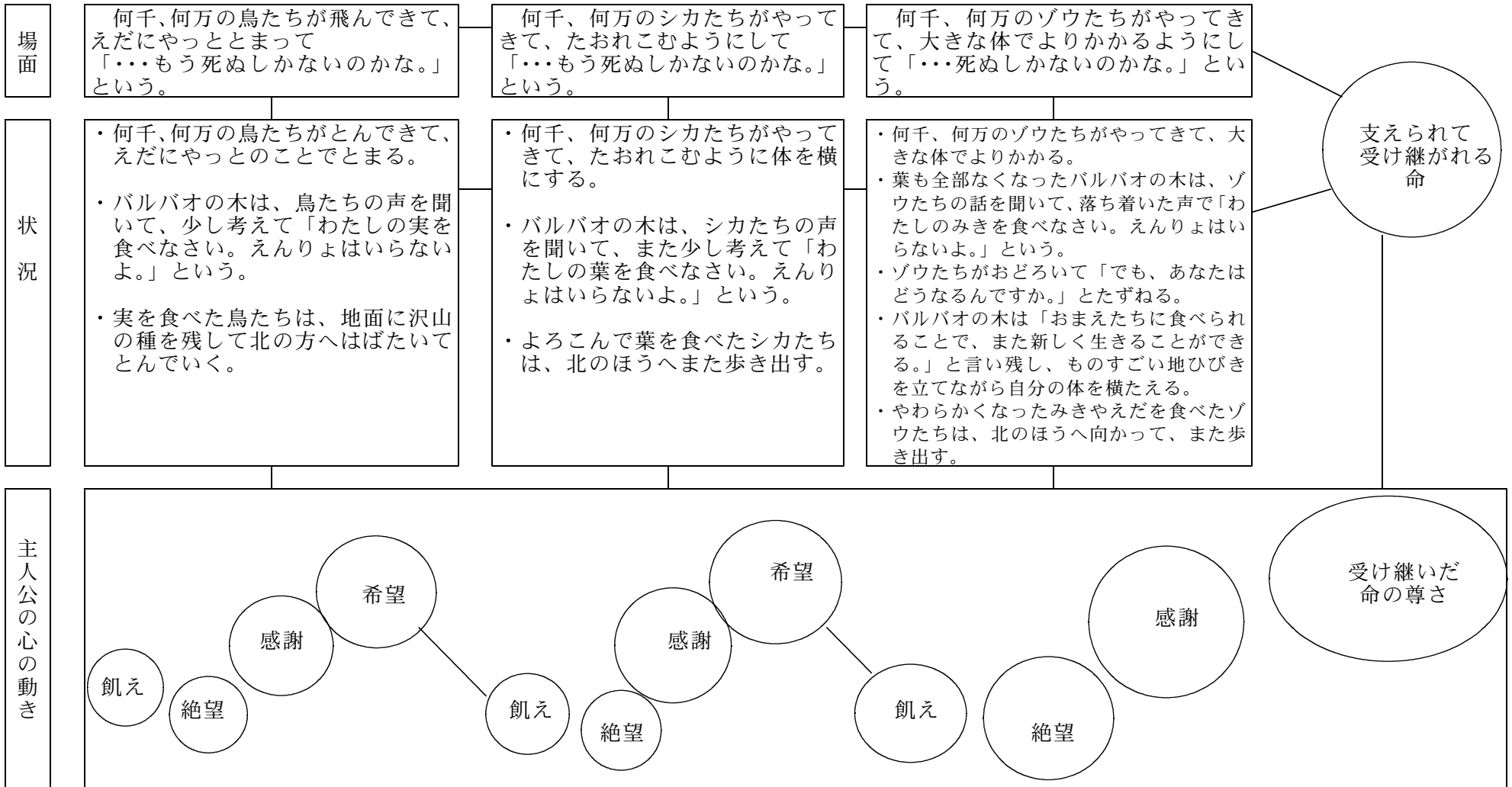
|   | 学習活動と主な発問   | 予想される児童の反応  | 指導上の留意点  |
|---|---|---|--|
| 気づく<br>5分   | 1. 食について話し合う。<br>○あなたは、お腹がすいて大変な思いをしたことはありませんか。<br>どんなときですか。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ありません。</li> <li>・お母さんの帰りが遅くなって、晩ご飯が食べられなかったときに、お腹がすいて大変でした。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発表を通して、ねらいへの方向付けをするために、事前に質問紙で調査しておいた結果を提示する。</li> </ul>  |
| 深める   | 2. 教材を読んで、印象に残ったことを発表する。<br>○どんな場面が心に残りましたか。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バルバオの木が花を咲かせ、花がたちまち実になったところが不思議でした。</li> <li>・バルバオの木が地響きを立てながら倒れたところです。</li> <li>・バルバオの木がゾウのために、自分の体を犠牲にしたところです。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に考える意欲を高めるために心に残ったことを発表し、バルバオの木は自分たちに何を伝えたかったのか考えることが本時の学習課題であることを確認する。</li> </ul>  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>受け継がれる命について考えよう。</p> </div> |   |   |  |
| つかむ<br>20分  | 3. バルバオの木の実や葉、みきを食べる動物たちの気持ち話し合い、価値の理解を図る。<br>① バルバオの木の实を食べながら、鳥はどんなことを思ったでしょう。<br>② バルバオの木の葉を食べながらシカたちは、どんなことを思ったでしょう。<br>③ バルバオの木の幹や枝を食べながら、ゾウたちはどんなことを思ったでしょう。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・助かった。これで生きることができる。</li> <li>・バルバオの木はなんてやさしいんだろう。</li> <li>・頑張って北の空へ飛んでいくぞ。</li> <li>・頑張って北へ歩いていくぞ。</li> <li>・バルバオの木に命をもらったんだ。</li> <li>・これで何とか生き延びることができるぞ。</li> <li>・バルバオの木のためにも、頑張っているぞ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥やシカなどの動物たちの喜びやバルバオの木に対する思いを自分との関わりで考えさせるために、鳥やシカの役割演技を行い思いを表出させる。</li> <li>・他の命を食べることで生命が受け継がれていくのだということを自分との関わりで考えさせるために、ゾウたちの心情を考えさせ、バルバオの木への感謝の気持ちがそこにあることに気づかせる。</li> </ul> |
| 広げる   | 4. 今日の学習で学んだことを生かし、「バルバオの木が伝えたかったこと」について考える。<br>④バルバオの木がに伝えたか   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身を削って他の生き物の</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体を提供することで生命を次</li> </ul>  |

|           |   |  |   |
|-----------|---|--|---|
| 15分       | <p>ったことについて考えてみましょう。</p>  | <p>命を救うことの尊さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことより他の生き物のことを考えることの大切さ</li> <li>・自分たちの命は他の生き物の命に支えられていること</li> </ul> | <p>世代へつなげていこうとするバルバオの木的心情について考えることを通して、自己の生活をふり返り、これからの生き方について考えを深めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題についての自分の考えを整理するために「ねむの木ノート」に、自分の考えや思いを書き、交流する。</li> </ul> |
| まとめ<br>5分 | <p>6. 今日の学習で学んだことをふり返りながら「受け継がれる生命」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの手紙を読む。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとってのバルバオの木は、親だったんだなと思った。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きていることのすばらしさについて考えるために、ゲストティーチャーに手紙を読んでもらう。</li> </ul>   |

(3) 教材の吟味

資料名 「バルバオの木」  
出典 ゆたかな心で 4年 東京書籍

〔ねらい〕 自他の生命を大切にしようとすることや受け継がれる生命の尊さについて考えることを通して、生命あるものを大切にする心情を育てる。



5 推進計画1(重点内容項目)

| 学期  | 重点内容項目  | A希望と勇気・努力と強い意志   |  | D生命の尊さ  |   | B親切・思いやり   |   |  |
|-----|---------|--|--|---|---|--|---|--|
|     |         | 自分でやろうときめた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと   |  | 生命の尊さを感じ取り、生命のあるものを大切にすること  |   | 相手のことを思いやり、進んで親切にすること  |   |  |
| 一学期 | 目指す子ども像 | 自分でやろうと決心したことは粘り強くやり遂げるよう努力する子ども   |  | 生命の尊さを感じ取り、生命のあるものを大切にすること  |   | 相手の状況や気持ちを判断したり、推し量ったりして、相手の本当に望む親切をしようとする子ども  |   |  |
|     | 道徳の時間   | 主題・資料名・出典名   | ぼくのへんしん(東京書籍)                            |   | わたしの見つけた小さな幸せ(東京書籍)   |  | なにかお手つだいできることはありますか？(東京書籍)                        |  |
|     |         | ねらい  | 自分でやろうと決心したことは粘り強くやり遂げるよう努力しようとする心情を育てる。 |   | 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすることの心情を育てる。                                 |  | 相手の立場や気持ちを理解して、進んで親切にしようとする心情を育てる。                |  |
|     | 意図的体験   | ①体育<br>単元名「体づくり運動」「走・跳の運動」<br>短距離走や中・長距離走、縄跳びなどいろいろな運動に取り組む中で、目標を立て、その目標を達成しようとして粘り強くやり遂げようとする気持ちを育てる。<br>②国語<br>教材名「動いて、考えて、また動く」<br>自分にとって最高のものを実現するためには、「まず動く、そして考える」ことが大切だという筆者の経験から目標に向かって取り組むことの大切さに気付く。 |  | ①理科<br>単元名「あたたかくなると」<br>自分たちを取りまく自然の草木、生き物への興味を抱かせるとともに、その生命の大切さに気付かせる。<br>②児童会活動<br>「誕生集会」<br>自分を愛し、見守り続けてくれている家族への手紙を書きなで、自分自身の命の大切さを感じ取らせていく。      |   | ①国語<br>教材名「白いぼうし」<br>登場人物の行動や様子、気持ちを表す言葉や表現に気をつけて読み、人がらについて話し合い、思いやりの心を育てる。<br>②社会<br>単元名「安全なくらしとまちづくり」<br>事故や事件、災害を防ぐために働く人たちの願いについて学び、自分たちの安全な暮らしを支える人たちの思いやりに気付かせる。                             |   |  |
| 二学期 | 目指す子ども像 | いろいろなことに挑戦し、最後までやりぬいて、自分を高めていこうとする子ども  |  | 自分や他人、動植物等命あるものは、どれも守るべきものであり、大切にしていこうとする子ども  |   | 相手の気持ちや立場を思いやって理解したうえで、親切にしようとする子ども  |   |  |
|     | 道徳の時間   | 主題・資料名・出典名   | へこたれない(学研)                               |   | バルバオの木(東京書籍)  |  | 温かい言葉(学研)   |  |
|     |         | ねらい  | 自分でやろうと決めたことは、最後までやり遂げようとする心情を育てる。       |   | 自他の生命を大切にしようということや受け継がれる生命の尊さについて考えることを通して、生命あるものを大切にすることの心情を育てる。 |  | 相手の立場を思いやり気持ちを理解して、進んで親切にしようとする心情を育てる。            |  |
|     | 意図的体験   | ①社会<br>単元名「むかしの人々のねがいと努力」<br>鹿妻穴堰の開発に尽力した鎌津田甚六の努力と功績について学び、目標や計画を立て、最後までやり遂げることで、自分を高めていこうとする気持ちを育てる。<br>②行事<br>「校内マラソン大会」<br>業間マラソンや校内マラソン大会への取組方や目標を決め、それに向かって最後までやり遂げることを通して、自分を高めていこうとする気持ちを育てる。           |  | ①理科<br>単元名「すずしくなると」<br>自分たちを取りまく自然の草木、生き物の生命の変化に気付かせるとともに、その生命の大切さを感じ取らせていく。<br>②児童会活動<br>「誕生集会」<br>自分を愛し、見守り続けてくれている家族への手紙を書きなで、自分自身の命の大切さを感じ取らせていく。 |   | ①国語<br>教材名「だれもが関わり合えるように」<br>「手と心で読む」を読み、誰もがよりよく関わり合うことについて考え、目の不自由な人たちの役に立つ工夫や自分ができることを話し合う中で、思いやりの心を育てる。<br>②児童会活動<br>「心のかげはしプロジェクト 絆募金」<br>沿岸で被災した人たちの状況を知り、相手の気持ちを思いやる中で募金活動を行う。               |   |  |
| 三学期 | 目指す子ども像 | 自分で立てた目標に向かって、粘り強くやり遂げようとする子   |  | 一人一人の生命のかけがえのなさ、尊さを知り、生命を大切にしようとする子   |   | 相手の状況や気持ちを判断したり、推し量ったりして、勇気をもって相手の本当に望む親切をしようとする子ども  |   |  |
|     | 道徳の時間   | 主題・資料名・出典名   | いつかにじをかける(東京書籍)                          |   | 走れ江ノ電 光の中へ(東京書籍)  |  | ボロといっしょ(東京書籍)                                     |  |
|     |         | ねらい  | 自分で立てた目標に向かって、粘り強くやり遂げようとする態度を育てる。       |   | 生命のかけがえのなさを感じ取り、生命を大切にしようとする態度を養う。                                |  | 相手の立場や気持ちを理解したり、推し量ったりして、相手の本当に望む親切にしようとする態度を育てる。 |  |
|     | 意図的体験   | ①算数<br>「算数検定」<br>算数検定への取組を通して、自分で目標や計画を立て、最後までやり遂げることで、自分を高めていこうとする気持ちを育てる。<br>②社会<br>単元名「むかしの人々のねがいと努力」<br>大島高任や郷土のために尽くした人々の努力について知り、自分の決めた目標に向かって、強い気持ちを持ち、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。                              |  | ①理科<br>単元名「さむくなると」<br>動植物の1年をふり返るなかで、生き物の生命のつながりに気付かせ、命の大切さを実感させる。<br>②児童会活動<br>「誕生集会」<br>自分を愛し、見守り続けている家族への手紙を書きなで、自分自身の命の大切さを感じ取らせていく。              |   | ①国語<br>教材名「わたしの研究レポート」<br>報告書を書くときは、調べて分かったことが読む人にはっきり伝わるように相手意識、思いやりをもって書く。<br>②児童会活動<br>「6年生を送る会」<br>6年生の卒業を祝う中で、これまでお世話になってきた感謝の気持ちをもつとともに、安心して中学校へと進学していけるように、自分たちの成長した姿や決意の言葉を述べることができるようになる。 |   |  |

推進計画2（学級における道徳指導計画一覧）

| 重点                            | 学期 | 道徳の時間<br>・道徳副読本<br>・私たちの道徳                              | 学校諸行事                           | 児童会行事<br>学級活動<br>斜体は児童会目標   | 復興教育<br>「いきる」<br>「かかわる」<br>「そなえる」              | 国語                     | 社会                                | 算数                                       | 理科<br>生活                         | 音楽                              | 図工                             | 家庭 | 保健<br>体育                              | 総合的<br>な学習                   | 外国語<br>活動 |
|-------------------------------|----|---|---------------------------------|---|--|------------------------|-----------------------------------|--|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|----|---------------------------------------|------------------------------|-----------|
| 希望と<br>勇氣・<br>努力と<br>強い意<br>志 | 1  | ぼくのへんしん<br>(東京書籍)<br><br>1-(3)よわむし太<br>郎                | 始業式<br>運動会                      | なかよし<br>元気に大きな声であいつぎし<br>よう(4月)<br>運動会を成功させよう(5月)<br>夏間マラソンをがんばろう<br>ましませうじに取り組もう(7<br>月) | 《いきる》<br>「もっこ」で弁当<br>配達                        | 大きな力を出す／動いて、考えて、また動く   | 健康なくらしとまちづくり                      | 折れ線グラフと表<br><br>わり算の筆算(1)                | 動物の体のつくりと運動<br>天気と気温<br>夏の星      | 明るい歌声を響かせよう<br>せんりつのとくちょうを感じ取ろう | リズムにのって<br>ギコギコ、コロコロたのしいなかま    |    | かけっこ・リレー<br>ネット型ゲーム<br>跳び箱運動          | 盛岡の伝統行事を調べよう                 |           |
|                               | 2  | へこたれない(学<br>研)<br>1-(2)夢は見るものではなく、かなえるもの                | 連合音楽会<br>校内マラソン大会<br>算数検定       | なかよし<br>マラソン大会に向けて心と体をきたえよう(10月)<br>進んで読書に取り組もう(11月)                                      | 《かかわる》<br>高校生が地域にかかわる                          | プラタナスの木                | わたしたちがくらす岩手県                      | わり算の筆算(2)<br>計算のきまり<br>検定問題に挑戦<br>小数のしくみ | 月や星の動きとじこめた空気と水<br>物の体積と温度       | せんりつのもじりを感じ取ろう                  | つくって、つかって、たのしんで                |    | 幅跳び・高跳び<br>ゴール型ゲーム<br>ベースボール型ゲーム      | 先人ツアーをしよう                    |           |
|                               | 3  | いつかにじをかける<br>(東京書籍)<br><br>1-(5)人生の先ばいに学ぼう              | スキー教室<br>算数検定<br>卒業式            | なかよし<br>六年生を送る会<br>金管バンドの引き継ぎ<br>1年のまとめをし、卒業・進級しよう(3月)                                    | 《いきる》<br>チャレンジデーに挑戦 陸前高田市                      | 未来の自分に手紙を書こう           | むかしの<br>人々のねがいと努力                 | 分数<br><br>検定問題に挑戦                        | 物のあたためり方                         | 日本の音楽に親しもう                      | 願いの種から                         |    | マット運動<br><br>ゴール型ゲーム                  | 未来の盛岡を考えよう                   |           |
| 生命の<br>尊さ                     | 1  | わたしの見つけた<br>小さな幸せ(東京<br>書籍)<br>3-(1)命あるかぎり生きる           | 入学式<br>交通安全教室<br>避難訓練<br>JRC登録式 | 第1回誕生集会<br>絆募金<br>正しい廊下歩行を心がけよう(5月)<br>歌声をひびかせよう(6月)                                      | 《いきる》<br>多くの命を救った<br>防災無線<br>《そなえる》<br>東日本大震災  | 一つの花                   | 安全なくらしとまちづくり                      | 角の大きさ<br><br>垂直・平行と四角形                   | あたたかくなると<br>動物の体のつくりと動き<br>暑くなると | 拍の流れにのってリズムを感じ取ろう               | 絵の具で遊んで「自分<br>いるがみ」<br>木々を見つめて |    | 体ほぐし運動<br>多様な動きをつくる運動<br>浮く運動・泳ぐ運動1   | 我が家の自慢<br>わたしの自慢<br>盛岡の自慢    |           |
|                               | 2  | バルバオの木(東京<br>書籍)<br>3-(3)美しいものを感じて<br>三代杉               | 祖父母参観<br>避難訓練<br>感謝集会           | 第2回誕生集会<br>絆募金<br>しっかり食べよう(8・9月)<br>ボランティア活動を積極的に行おう(12・1月)                               | 《かかわる》<br>人々をつないだ歌<br>声<br>《そなえる》<br>地震のしくみと被害 | だれもが関わり合えるように<br>ごんぎつね | わたしたちがくらす岩手県                      | 大きい数のしくみ<br><br>概数の表し方                   | 涼しくなると<br><br>寒くなると              | いろいろな音の響きを感じ取ろう                 | いい場所を見つけてか<br>こんでみたら           |    | 浮く運動・泳ぐ運動2<br>体ほぐしの運動<br>多様な動きをつくる運動2 | 盛岡の先人を調べよう                   |           |
|                               | 3  | 走れ江ノ電 光の中へ  | 心の授業                            | 第3回誕生集会<br>絆募金<br>六年生を送る会<br>六年生を送る会を成功させよう(2月)   | 《いきる》<br>海人の心                                  | 初雪のふる日                 | むかしの<br>人々のねがいと努力                 | 直方体と立方体                                  | 生き物の1年をふり返って                     | 曲の気分を感じ取ろう                      | ゆめいろらんぷ                        |    | リズムダンス<br>育ちゆくからだ<br>とわたし             | 未来の盛岡を考えよう                   |           |
| 親切・<br>思いや<br>り               | 1  | なにかお手伝いできる<br>ことはありますか？<br>(東京書籍)<br>2-(1)だれに対しても真心をもって | JRC登録式<br>運動会                   | 1年生を迎える会<br>なかよし<br>元気に大きな声であいつぎしよう(4月)   | 《いきる》一年間<br>やりきった入浴<br>支援                      | 白いぼうし                  | 安全なくらしとまちづくり                      | 折れ線グラフと表                                 | あたたかくなると<br>暑くなると                | 明るい歌声を響かせよう                     | 木々を見つめて                        |    | かけっこ・リレー<br>ネット型ゲーム<br>跳び箱運動          | 盛岡の伝統行事を調べよう                 |           |
|                               | 2  | 温かい言葉(学<br>研)<br>2-(2)相手を思いやり親切に                        | 感謝集会<br>親子美化活動                  | 絆募金<br>なかよし<br>ボランティア活動を積極的に行おう(12・1月)  | 《かかわる》<br>強くなってください。<br>そして笑顔でいてください           | だれもが関わり合えるように<br>ごんぎつね | むかしの人々のねがいと努力<br>郷土のために<br>尽くした人々 | がい数の表し方                                  | 涼しくなると<br>寒くなると                  | せんりつのもじりを感じ取ろう                  | みんなで、どんな<br>どんむすんで、<br>つないで    |    | ゴール型ゲーム<br>ベースボール型ゲーム                 | 盛岡の先人を調べよう                   |           |
|                               | 3  | ポロといっしょ   | 卒業式                             | 絆募金<br>なかよし<br>六年生を送る会<br>六年生を送る会を成功させよう(2月)  | 《かかわる》まご<br>ころを運ぶバス                            | わたしの研究レポート             | わたしたちがくらす岩手県<br>平泉町の人たちのくらし       | 変わり方調べ                                   | 生き物の1年をふり返って                     | いろいろな音の響きを感じ取ろう                 | ハッピー<br>カード                    |    | マット運動<br><br>ゴール型ゲーム                  | 未来の盛岡を考えよう<br>ユニバーサル<br>デザイン |           |

第二十五回 道徳

バルバオの木

バルバオの木が伝えたかったことについて考えよう

鳥の絵

- ・助かった
- ・生きられる

シカの絵

- ・バルバオの木は
- ・やさしい
- ・がんばって
- ・北へ行くぞ

バルバオの木の絵

「わたしのみきを食べなさい。」

- ・ゾウたちに自分の命をあげよう
- ・わたしはまた、新しく生きることができ

ゾウの絵

- ・これで生きられる
- ・バルバオの木に命をもらったんだ
- ・バルバオの木のためにも生きるぞ

わたしたちの命は、多くの命に支えられ、受け継がれてきたのだ。